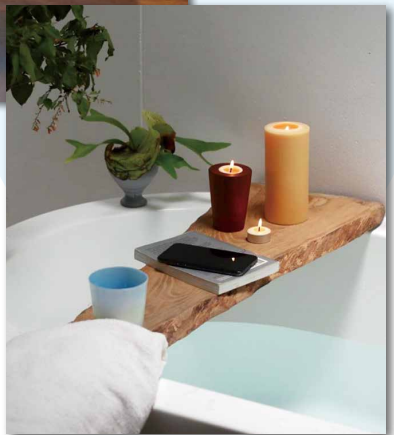


和ろうそくの素材・技術を活かした キャンドルの開発及び生産体制の構築

有限会社大與

対象類型 ものづくり技術（デザイン・製造環境）
事業類型 小規模型（設備投資のみ）

工芸品から生活道具へ
～未来に接続する和ろうそく～



設備名／
ラウンドローソク成形機シリンドラセット（大中小）、
テーパーキャンドル成形機シリンドラセット
特長／
新開発の和ろうそくを製造するため、製造工程を機械化した。
用途／
職人が1本ずつ手作りしていた和ろうそくを、高品質かつ低コストで量産する。
効果／
機械導入により、8倍の生産量を実現するだけでなく、廃棄ロスの大幅減を達成した。

和ろうそくはお寺で使われる宗教用具として発展してきました。当社は永平寺御用達を賜るなど、仏事関係を中心とした安定した需要がありましたが、時代の流れと共に、既存分野の需要が減る中で新しい分野への進出が不可欠となっています。代々技能を受け継ぎながら、2014年に創業100周年に至りました。2010年前後には、次の100年に向けた商品開発を始めました。

和ろうそく本来の原料はハゼノキという漆の仲間の実です。ハゼノキが希少となっている今、より安価で使いやすい材料として、当社では米ぬか蠟を使用したろうそくが主流になっています。全て植物原料の「お米のろうそく」は2011年にグッドデザイン賞（中小企業庁長官賞）を受賞しました。

「新商品開発で何より困ったのは、ろうそくを日常で使用する場面が想像できない」という現実です。そこで2013年にスバで使うて頂くことを目指してミニキャンドルを作ったのですが、値段が高すぎた。ただ、値段ではなく環境に与える影響などを考慮する品質に特化した方向性を決めなかつたことで、高級飲食店経営者から「においがまったくない米ぬかろうそくの特長を活かして、レストラン用のテーパーキャンドルを作ってくれないか？」というお声をいただくことができた。次の新商品開発に着手できました。試作品納品後、できる限り電気を使わず調理をするというお店のスタイルがすぐに人気となり、来店客の口コミで徐々に新製品の評判が広まってきました。本補助金事業では、ニーズの高まりに対応した、米ぬかろうそく製造の機械化を実現しました。

従来、和ろうそくは1本ずつ全て手作業で作っていました。新商品に必要な成形機を導入したことで、生産量の増大と廃棄ロスの削減はもちろん、不均一な熱伝導によりムラが発生しがちだった品質の安定化が達成できました。

「日本ではろうそくを暮らしの明かりとして定着させるのはかなりハードルがあります。仏壇ですらろうそくを灯さない今、根本のところでは火を人とう結びつけるのかという問いに真摯に向き合いました。その結果、お客様に火と人の間にそっと寄り添うあたたかい灯というブランドイメージが届いたのだと思います。」

Point



ものづくり補助金活用
ここがポイント!

- ① 燃焼時間の向上
 - ② 生産量の飛躍的向上
 - ③ 品質安定による廃棄ロス低減
- 従来、炎の大きさの調整と燃焼時間の短さ、ひび割れ等によるロス、ろうそく底部にできる凹みによる製品ムラといった生産上の問題がありました。本事業ではろうそくの芯の改善、量産型成形機の導入による生産体制の構築を行うことで②③を解決しました。さらに燃焼時間についてはテーパーキャンドルが8時間、円柱型については96時間という長時間を、ハゼ蠟ではなく、米ぬか蠟を活用することにより達成でき、①の問題も解決しました。

アメリカ大陸横断の経験から、渡米にあつては徹底的にプロモーション資料を作り込み、環境問題に対応した物語性はもちろん、においがないことや燃焼時間が最長96時間と極めて長いことを評価いただくことで、コロナ下での安定した販売に繋がっており、売上減少を食い止めています。本来、2020年に実施予定だった、イギリス・オランダ・ドイツ・北欧・スイスへの営業活動をコロナウィルスの収束後、早期に実施し、更なる海外販路開拓を実施したいと思っています。

販路開拓にあつてはライバルと同じ土俵に乗つてはいけなことを痛感しました。例えばバッグだとルイ・ヴィトンと戦つて勝てるメーカーはそうはありません。当社にとつても唯一無二の戦う土俵を自ら開拓し、世界一になれる分野を作っていきます。

Future



今後の展望



代表
大西 巧

COMPANY INFORMATION

DAIYOブランドの
価値を世界に広める

新商品開発ではブランドイメージをいかにして社内にも社外にも浸透させていくのが課題です。当社ブランド「DAIYO Life&Living」のターゲットは、ありがたい未来の価値観に共感し、共有しようとしてくれる層です。質の高い食事のために、環境負荷がなく、匂いのないキャンドルでお迎えしたいというレストラン。持続可能な未来のために、自然素材への関心と環境意識が高い小売店、またはエンドユーザー。特に欧米地域では、そういった顧客が多いと感じています。

元々当社では絵ろうそくが有名で、海外でお土産として売れるのではないかと期待しましたが、実際はまったく異なりました。海外では飾りではなく、実際にろうそくを使用するシーンがあるということがわかり、よりシンプルで、思想的にも優れた製品が好まれることに気づきました。ここでいう思想とは、製品の裏にあるメッセージであり、製品によって世界をどのように良くしていきたいか、という強い思いです、単なる見た目ではなく、1ランクも2ランクも上の高い価値をキープしたいと思っています。



会社HP



有限会社大與

代表者名／大西 巧
資本金／500万円
従業員数／10人
創業・設立年月／1914年
事業内容／化学工業
住所／滋賀県高島市今津町住吉2-5-8
TEL／0740-22-0557
FAX／0740-22-1267
E-mail／info@warousokudaiyo.com
URL／https://warousokudaiyo.com/

